

点をつないで、面で備える。

測川LITE

きめ細かな測定を実現する超低価格水位計

たくさんつける・広くわかる・リスクがみえる

昨今、発生頻度や激しさが増している大型台風やゲリラ豪雨の影響で、大型河川だけでなく中小河川からの浸水被害が拡大しています。測川LITEは、特定の点ではなく面的な水害監視を実現するために開発された河川水位計です。

本体は低価格、小型・軽量で、河川だけでなく用水路や避難経路の道路冠水など、さまざまな場面での水位監視を可能にします。

観測点を増やすことで、早期にきめ細かな状況予測や被害実態の把握が可能となり、避難誘導や被害の推定による警報発令などの迅速化にお役立ていただけます。



特徴

超低価格

1台 10万円台からの超低価格。
(取付部材・設置工事費等除く)

面的な水位監視体制をサポートするため、限られた予算の中でも複数台の導入を可能に。

非接触型超音波センサ

水位の測定には、非接触型の超音波距離センサを採用。
50cm～約9mの距離を分解能1mmで正確に計測。

観測モードを自在に変更

水位の変動を検知し、測定間隔を自動で変更。平常時は測定間隔を長くすることで電池消費を抑え、水位が増加すると短い測定間隔に自動的に変更して急激な水位変動に備える。

測定間隔は監視アプリケーションから手動で変更することも可能。自在な水位監視を実現。

省電力設計

通信方式にLoRaWAN™を採用し、省電力化を実現。

単1形乾電池6本で約2年間の長期稼働が可能。

ブラウザで情報取得

測定データは、パソコンやスマートフォン、タブレットなどから操作可能な監視アプリケーションで参照可能。



小型・軽量

本体重量、約1.1kg(電池・取付部材除く)と軽量化に成功。

従来型では設置が難しかったガードレールやフェンスなどへの設置が可能。設置場所の選択肢が広いため、河川に限らず、用水路や冠水の危険があるアンダーパスなどの監視にも利用することができる。



※写真はカスタマイズ例。
取付金具のカスタマイズには別途費用が発生します。
詳しくはお問い合わせください。

データ管理

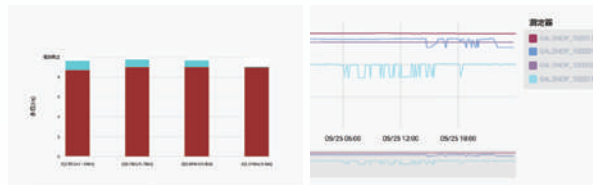
地図上に水位計の 設置位置を表示

水位の状況に応じて色分けされるため、現在の水位をわかりやすく認識できる。
地図上で一覧して確認ができるため、複数河川や広範囲の状況把握が容易に。



複数のグラフで 測定データをわかりやすく表示

グラフは、個別の水位データを時系列で表示するだけでなく、複数の水位データを一括表示することが可能。
ひとつの河川に複数台設置する場合はもちろん、支流・分流を監視する際に役立つ。



測定データ(グラフ)

水位データの蓄積が可能

測川 LITE は、測定した時系列の水位のデータをクラウドへ送信し、データベースに蓄積。
水害時だけでなく、河川管理に役立つ情報の分析や河川の整備計画等に活用することが可能。

ローラ・ワン
通信方式 LoRaWAN™

特徴：省電力・低電力、
長距離通信が可能、免許が不要

LPWA（省電力広域無線通信）技術の規格のひとつで、低消費電力で長距離通信が可能な無線通信技術。
通信速度は低速であるものの、センサデータのようなデータ量の小さな情報を繰り返し送信する用途に最適で、特にIoT向けの通信規格として注目されている。



外形寸法	170mm(W)×325mm(H)×130mm(D)（突起部を除く）
質量	約 1.1kg（電池・取付金具等除く）
使用温度範囲	-20℃～ +50℃
電源	単 1 形アルカリ乾電池 6 本
測定方式	超音波距離計測
測定範囲	0.5m ～ 9m
最小計測単位	1mm
測定精度	±20mm

● 測川LITEはLoRaWAN™で通信を行うため、当社のLoRaWAN™サーバへインターネット経由でデータ送信が可能なLoRaWAN™ゲートウェイの設置が必要な場合があります。詳しくはお問い合わせください。● 測定値および測定精度は測定水面の状態に大きく影響を受けるため、その正確性あるいは完全性について保証するものではありません。● 河川水位計管理アプリケーションの利用には、インターネットに接続されたパソコン・タブレット・スマートフォン等が必要となります。ご利用時にかかるパケット通信料等はお客様の負担となります。● LoRaWAN™は、米国 Semtech Corporation、および関係会社の登録商標です。● 製品の外観・仕様・価格等は予告なく変更することがあります。